

トヨタファーム「三州豚」復活

豚熱の発生から約1年3ヵ月

豊スタ で開催 夢農人 ドライブスルーマルシェ



↑車内で注文してセット商品を受け取るドライブスルー・マルシェ。停車時間は30秒ほどだ。最初の1時間は車が行列になった。

昨年2月に豚熱（豚コレラ）が発生し全頭殺処分となった豊田市高岡地区のトヨタファームが先週末23日、豊田スタジアム駐車場で開催された「ドライブスルー・豊田マルシェ」で、白林ブランド肉「三州豚」を復活販売した。おととし1年3ヵ月ぶりに、



トヨタファーム 榊柄 謙一さん

トヨタファームが豚の飼育を再開したのは昨年7月。まだ月間40頭ほど（豚熱発生前は3千頭）

の出荷なので完全復活とは言えないが、市民の食卓へ三州豚を提供できるよすがになり代表の榊柄謙一さんの顔も明るい。

「コロナショック」

茶・卵・花の農家が大打撃

この度のコロナショックは様々な形で農業にも影響しており、榊柄さんが所属する若手プロ農家集団「夢農人とよた」のメンバーもお茶、鶏卵、生花の生産農家が大打撃を受けているという。

今回のマルシェは、そうした農家の支援や、市民が安心して購入できる場を提供したい気持ちから

込め、夢農人と豊市精肉店（豊橋市）がコラボ開催したものだ。豊市精肉店は豚コレラ発生の際にトヨタファームの力になってくれた企業。今回のマルシェには

いまコロナショックで苦しい同精肉店への感謝の気持ちも込めた。豊田スタジアムや市の協力も得られた。豊市精肉店は東三河の畜産農家とともに豊橋市

内で3歳を過ぎたドライブスルー東三河マルシェを何度も開いており、今回の豊田マルシェもそのノウハウで開催。お客さんは車内で注文して受け取っていた。

販売したのは三州豚をはじめ牛肉・鶏肉のセット（3千円〜8千円）のほか、夢農人メンバーによる野菜、お米、お茶などの生鮮セット（2千円〜3千円）も。お得な価格で用意しおまけに雞卵もつけた。セット販売のため停車時間は30秒ほど。それでも開始1時間

は車の行列が途切れず、1日で370台が買い物をしていた。好評だったため今週末30日（土）と来週末6月6日（土）にも10時〜16時に開催予定だ。場所は豊田スタジアム南駐車場（久徳橋側）。雨天決行・売り切れ終了だ。

【新見浩出】